

本特集をお読みいただき、どのように感じられたでしょうか？ やっぱリウマチ診療は難しいと感じられた方、これなら一度やってみようかと感じられた方、いろいろだろうと思います。メトトレキサートや分子標的薬が登場して間もない頃はだいぶんと混沌とした状況で、標準的ではなく属人的な、いわゆるエキスパートオピニオンで診療が行われていました。そのような環境では各薬剤をどのように使って、何に注意しながら診療を行えばいいのかが非常にわかりにくく、初心者を寄せ付けない世界になっていたと思います。しかし勉強していただいたように、現在では関節リウマチの薬物治療は標準化が進んでいて、ある程度までマニュアル的に行うことも可能な環境になっています。是非これを機会に、一度関節リウマチの世界に足を踏み入れてみていただければと思います。

多数の患者がいるから整形外科医の参画が重要だという必要性の話も事実ですが、一方で関節リウマチ診療には楽しさという側面もあります。整形外科には多岐にわたる対象疾患がありますが、外来診療の薬物治療でこれほど劇的に改善して患者さんに熱烈に感謝される疾患も他には多くはないと思います。ただし診断が難しい症例があるのは課題であり、はじめのうちは抗CCP抗体強陽性の典型症例を対象とされるのがよいと思います。典型症例にメトトレキサートをはじめとする標準治療を行うと驚くほど良くなる症例が少なくありません。そして最終目標である患者QOLの最大化に向けては、ロコモ・フレイルの改善に向けたリハビリテーションや手術など非薬物治療があり、高齢女性が多いという特徴からは骨粗鬆症や各種変性疾患のマネジメントも重要となります。これらすべてを包括的に診療できるのは、まさに整形外科医をもって他にはいないと思います。

多くの整形外科医が関節リウマチ診療に参入いただけることを願って、楽しく編集させていただきました。少しでも日常診療の一助となれば、これ以上の喜びはございません。

(高橋伸典)

令和7年12月19日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.44 No.12

発行：年14回（年12回発行＋増刊号2回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一／帖佐悦男

編集主幹 高平尚伸

編集委員 岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／岡崎 賢／國吉一樹／大島精司／兼氏 歩／谷口 晃

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（『私的使用のための複製』など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 宮田ビル5階 TEL 03-3814-8541